司法試験
短答3科目化戦略セミナー第2部
DATA分析編

20140622　東京LIVE

2014年辰已司法試験全国模試成績DATA集

辰已法律研究所

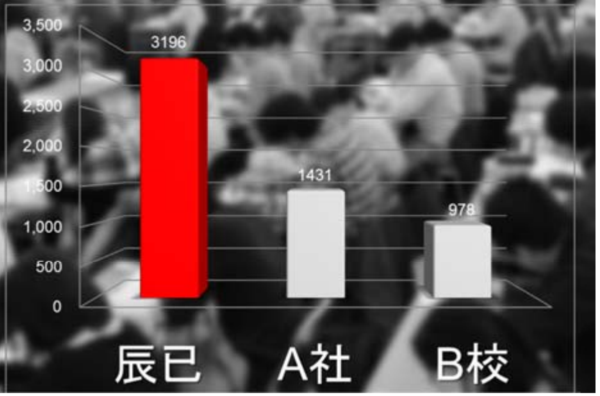
２０１４年４月実施
辰巳・司法試験全国公開模試

受験者実数　３,１９６名/総申込者数3,510名

●2014年本試験受験者数　8,015人
●対本試験受験者数比　**36.8%（有受験資格限定）**
39.8%（実受験者全体）

●他校対比
A校最大値　1,431名
B校最大値　　978名

※2014年本試験直前に実施された新司法試験総合模試において、各社が受験生に配付又はWEB公開した成績表に記載された受験者数の最大値を引用した。



池袋サンシャインシティ文化会館
司法試験本試験会場使用

本試験と辰巳全国模試の相関性

辰巳模試の成績DATAを分析すると
法務省公開DATAでは分からない
司法試験の実相に迫ることができます！

法務省が公開する司法試験結果
・短答及び論文の成績統計は法系別でのみ公表
→特に民事系は民法・商法・民訴法の3科目の合計得点
・成績統計が短答成績と論文成績で別々になる
→短答得点と論文得点の相関関係が把握できません。

辰巳全国模試の成績DATAならば
受験者の各個人の短答と論文それぞれの7科目別成績DATAを
全て紐づけ横断的に分析することで、
司法試験の戦いの実態に迫ることができます。

辰巳全国模試は本試験の縮図①

辰巳全国模試が本試験の縮図といえる根拠

●本試験直前に実施
ほとんどの受験生が辰巳全国模試を本試験の予行演習と捉え、本試験さながらに準備し真剣に受験。辰巳模試受験者の実力レベルは本試験受験者に匹敵する。

●業界最大規模の実受験者数
受験生の出身LS、浪人・現役、予備試験出身者等の各比率や受験者の実力レベルの分布等は限りなく本試験に近づきます。

●出題傾向･難易度が最も本試験に近い
合格者の多くが「辰巳の模試は、本試験同様、基本の確認を重視。奇をてらう問題を出さない出題傾向や本試験頻出の分野・素材を用いた問題作り」と評価。だからこそ、本試験での高い的中実績も誇ります。

辰巳全国模試は本試験の縮図②

辰巳全国模試の平均点や合格推定点が
本試験とほぼ同じになります。

2013年本試験との距離を比較 ―辰巳模試の成績統計が最も本試験との距離が小さい結果となりました。

各社公表　【短答】平均点と合格推定点

	短答平均点		短答合格点（合格推定点）	
2013年本試験	233.0点	本試験との距	220.0点	本試験との距
辰巳	232.4点	-0.6点	225.0点	5.0点
A社	205.7点	-27.3点	190.0点	-30.0点
B校	217.7点	-15.3点	205.0	-15.0点

	総合平均点		総合合格点（合格推定点）	
2013年本試験	760.2点	本試験との距	780.0点	本試験との距
辰巳	770.99点	10.8点	780.0点	0.0点
A社	836.7点	76.5点	867.0点	87.0点
B校	未掲載		780.0	0.0点

模試の難易度は前年本試験結果を基準にするため、比較対象は昨年の本試験となります。

辰巳全国模試は本試験の縮図③

だからこそ、辰巳全国模試成績優秀者の本試験合格率は相当高い。

2013辰巳全国模試成績と2013本試験最終合格率

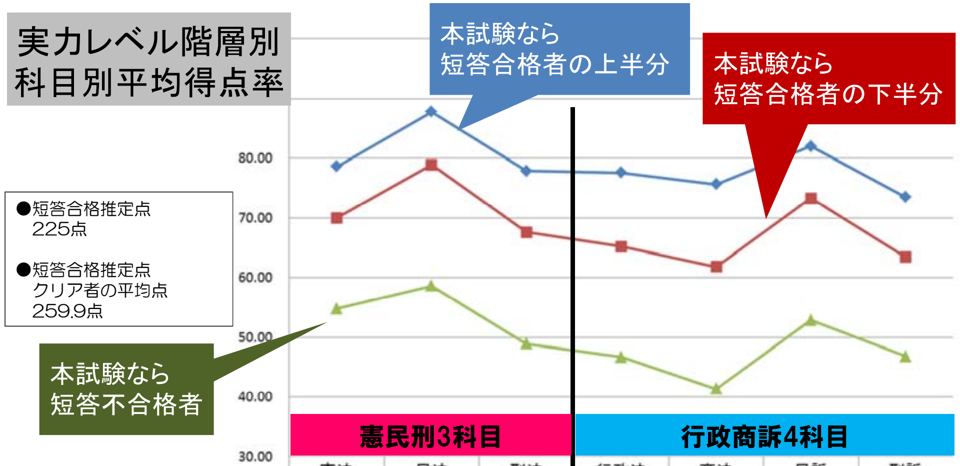
受験資格を有する会場受験者に限定して集計

辰巳全国模試の総合成績順位	辰巳模試受講者数	本試験合格者数	本試験合格率	本試験全国平均26.8%との差
上位10%以内	275人	218人	79.3%	+52.5%
上位20%以内	578人	434人	75.1%	+48.3%
上位30%以内	881人	604人	68.6%	+41.8%
上位40%以内	1,184人	734人	62.0%	+35.2%
上位50%以内	1,490人	834人	56.0%	+29.2%
上位60%以内	1,802人	907人	50.3%	+23.6%
上位70%以内	2,099人	944人	45.0%	+18.2%
上位80%以内	2,400人	961人	40.0%	+13.3%
上位90%以内	2,695人	972人	36.1%	+9.3%
全体	2,997人	972人	32.4%	+5.7%

※辰巳全国模試受講者における本試験合格者数は、官報掲載の平成25年司法試験合格者名簿と全国模試受講者名簿の照合による方法で確認しました（同姓同名による一致が若干含まれている可能性があります）。

辰巳全国模試成績DATA分析①

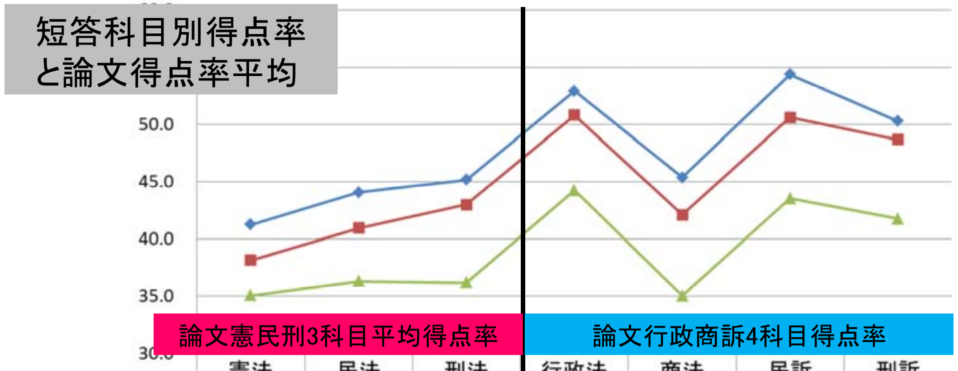
7科目で得点率が高い人は、3科目だけでも得点率が高い。



	憲民刑3科目			行政商訴4科目			
	憲法	民法	刑法	行政法	商法	民訴	刑訴
259.9点以上得点者（A）	78.63	87.79	77.87	77.57	75.64	81.99	73.47
225点以上259.9点未満得点者（B）	69.97	78.89	67.58	65.19	61.79	73.29	63.43
225点未満得点者（C）	54.76	58.63	48.90	46.68	41.35	52.85	46.78

辰巳全国模試成績DATA分析②

短答で点がとれる科目は論文でも点が取れる



	論文憲民刑3科目平均得点率			論文行政商訴4科目得点率			
	憲法	民法	刑法	行政法	商法	民訴	刑訴
短答で当該科目が8割以上	41.21	44.05	45.16	52.95	45.36	54.40	50.29
短答で当該科目が7割以上8割未満	38.13	40.94	42.99	50.81	42.09	50.63	48.69
短答で当該科目が6割未満	35.02	36.29	36.17	44.23	34.99	43.52	41.74

辰巳全国模試成績DATA分析③

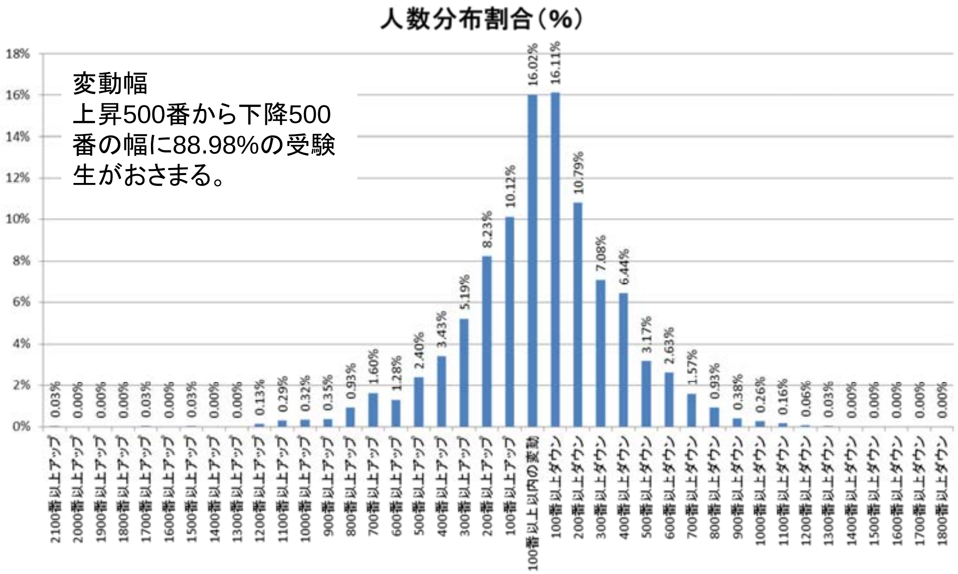
憲民刑3科目だけで成績処理で**短答合否**の変動は？

	総計		既修		未修		不明	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
総計	3,196	100%	1,565	100%	1,606	100%	25	100%
変動無し	2,900	91%	1,440	92%	1,436	89%	24	96%
合格のまま	1,972	62%	1,090	70%	877	55%	5	20%
不合格のまま	928	29%	350	22%	559	35%	19	76%
変動あり	296	9%	125	8%	170	11%	1	4%
不合格から合格	174	5%	77	5%	96	6%	1	4%
合格から不合格	122	4%	48	3%	74	5%		0%

憲民刑3科目だけで得点を計算し直し、7科目での合格推定点クリア者と同じ成績上位割合となる新3科目合格推定点を設定した。
※合推点付近では同点者が多数いるため、合否の入れ替わりは同人数とはならない。

辰巳全国模試成績DATA分析④

憲民刑3科目だけで成績処理で**短答順位**の変動は？



辰巳全国模試成績DATA分析⑤

憲民刑3科目だけで成績処理で**総合合否**の変動は？

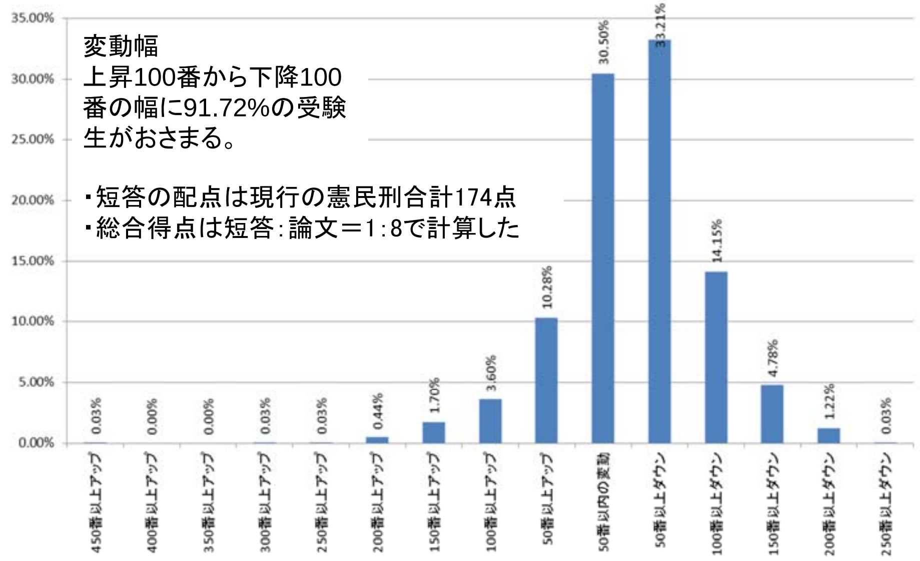
		総計		既修		未修		不明	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
総計		3,196	100%	1,565	100%	1,606	100%	25	100%
変動無し		3,128	98%	1,523	97%	1,580	98%	25	100%
	合格のまま	942	29%	554	35%	387	24%	1	4%
	不合格のまま	2,186	68%	969	62%	1,193	74%	24	96%
変動あり		68	2%	42	3%	26	2%		0%
	不合格から合格	23	1%	12	1%	11	1%		0%
	合格から不合格	45	1%	30	2%	15	1%		0%

憲民刑3科目だけで得点を計算し直し、7科目での総合合格推定点クリア者と同じ成績上位割合となる新3科目総合合格推定点を設定した。
※合推点付近では同点者が多数いるため、合否の入れ替わりは同人数とはならない。

・短答の配点は現行の憲民刑合計174点
・総合得点は短答：論文＝1：8で計算した

辰巳全国模試成績DATA分析⑥

短答憲民刑3科目だけで成績処理で**総合順位**の変動は？



■参考　平成27年司法試験　現時点で判明していること

	内容	参考
①短答試験科目	憲法・民法・刑法	
②試験日程	不明	本試験の何日目？ これまでは最終日。予備試験と共通問題があったので，日程・時間割を決めるのに制約があった。 来年以降は？予備試験は今のところ7科目での実施
③出題問数	不明	これまでは 憲法＝20問，行政法＝20問 民法＝37問，商法＝19問，民訴法＝19問 刑法＝20問，刑訴法＝20問
④試験時間	不明	これまでは 公法系（憲法・行政法）で1時間30分 民事系（民法・商法・民訴法）で2時間30分 刑事系（刑法・刑訴法）で1時間30分
⑤科目間の出題バランス	不明	これまでは 公：民：刑＝2：3：2
⑥総合評価（総合得点）の計算	不明	これまでは 短答得点（350点満点）÷2＋論文得点（800点満点）×1.75
⑦短答合格率	不明	2014年＝63.38% 2013年＝68.72% 2012年＝63.66%
⑧出題傾向	不明	憲民刑で旧司のようなパズル問題が復活？ ■参考 司法試験における短答式試験の出題方針について（平成25年12月2日司法試験考査委員会議申合せ事項）から抜粋「その出題に当たっては，法科大学院における教育内容を十分に踏まえた上，基本的事項に関する内容を中心とし，過度に複雑な形式による出題は行わないものとする。」

辰巳法律研究所